※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　工芸科

教科	芸術	科目	工芸Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・素材の特徴と適切な用具の扱いを学び、丁寧な制作をしよう
・これまで学んだことを生かし、日常を豊かにする個性的な作品を制作しよう。

２　学習の到達目標

・資料を収集させ、アイデアスケッチに時間をかける。
・一つ一つの工程を確認しながら、確実に作業を行わせる。
・制作レポート、鑑賞レポートを充実させる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:工芸への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構成を練っている。	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	土鍋セット	【陶芸】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・ひも作りで成形する。 ・本体と蓋の合わせ方や持ち手をデザインに応じて成形し化粧土をつける。 ・掻き落しで文様を施す。 ・土鍋とセットになる器を制作する。 ・乾燥、素焼き後、釉薬をつけ本焼きする。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	a:手順、材料の使用方法の確認ができている。 b:技法を理解し立体で表現できている。 c:用途を考え、工夫している。 b:全体に文様を施している。 c:セットになる器のデザインを考えられている。 c:適切に施釉している。 d:完成作品を客観的に観察し正しい文章で表現できる。	用具、材料の適切な使用 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート 鑑賞レポート
	高校展レポート	【鑑賞】 ・高校展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
2学期	ステンドグラス	【ステンドグラス】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・原寸大の型紙を描く。 ・材料用具を安全に使用し、ガラスカット、ルーターかけ、銅テープ巻き、はんだつけ、仕上げ等の各工程を丁寧に行う。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法の確認ができている。 b:技法を理解し表現できている。 c:ガラスの特性を理解し丁寧に作業している。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	アイデアスケッチ 材料使用方法の確認 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート 鑑賞レポート

※令和３年度以前入学生用

3学期	フェルトポーチ	【繊維】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・型を作り、フェルト原毛を繊維の向きを交差させながら巻き重ねる。 ・お湯と圧力でフェルト化させる。 ・乾燥後、ファスナー等を縫いつけて完成させる。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法の確認ができている。 c:技法を理解し丁寧に作業している。 b:用途に合った大きさ、形と、原毛の配色、組み合わせ方を考えている。 c:裁縫が丁寧にできている。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品」 完成作品 制作レポート 鑑賞レポート
	校内展レポート	【鑑賞】 ・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:工芸への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。